2015年4月3日号

リスクフラッシュ 203号

Risk Flash No.203
(Vol.6No.1)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長　久保英也
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1　TEL:0749-27-1404
FAX:0749-27-1189 **e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp**
Web page : http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2

●教育の視点：本学学生の学習研究を大きく支援するe-ラーニングシステム・SULMS～いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境の提供～・・・・・・・・Page 1
●研究紹介：曽根秀一・・・・・・・・・・・・・・Page 2
●リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・Page 2

教育の視点

本学学生の学習研究を大きく支援する e-ラーニングシステム・SULMS
～いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境の提供～

特任講師　庄司一也（しょうじかずや）

本学には、教育学習を支援する e-ラーニングシステムとして、SULMS（サルムス・学習管理サイトという意味で“LMS”ともいう）が存在することを以前紹介しました。

e-ラーニングの特徴を一言でいえば、「いつでも・どこでも・だれでも学習できる」ということです。

すなわち、従来の学習形態であれば、本学学生の昼間主であれば日中の決まった時間に授業、夜間主であれば夕方以降の指定の時間に授業があり、その時間に受講する必要がありました。しかし e-ラーニングでは、早朝でも夜中でもどのような時間でも学習管理サイト(LMS)にアクセスさえできれば学習することができます。しかも受講回数制限は基本的にないので、授業ビデオを繰り返し見ることもできますし、時間をかけてじっくりと勉強することができます。3月より就職活動が開始されたことや新学期よりアルバイトをはじめて日々忙しい学生たちにとって、この「いつでも学習できる（時間的制約のクリア）」という利点はとても大きいと思います。

次に、従来型の授業では、本学のキャンパス（彦根・大津）の指定の教室・研究室に集合して授業を受ける必要がありました。

しかし、e-ラーニングでは、キャンパスの外、すなわち自宅でも、滋賀県外でも、あるいは海外にいても、学習管理サイトにアクセスさえできれば学習ができます。従来の制限であった場所的制約をクリアできたことに大きな特徴があります。

また、授業を欠席してしまっても、学習管理サイトに授業資料がアップされているので、その教材資料をダウンロードし学習することもできます(欠席時のフォローアップ）。

最後に、学習管理サイトにアクセスできる ID とパスワードがあれば、通常授業時に、病気等の体調不良でもだれでも平等に学習できるということです。

以上のように、本学の e-ラーニングシステムは学生に対し（従来の制約をクリアし）多くの自由を与え、学習研究を支援し進捗に大きく貢献しています。
もちろん、本学の長い伝統の下、従来の通学制集合型教育にも大きな利点があるので、上記の e-ラーニングシステムの特徴を同時に活かし、通学制と通信制を組み合わせた、いわゆる“ブレンディッド・ラーニング”をうまく展開できるように学習環境の一層の向上に取り組んでいきたいと思っております。

研究紹介

リスクマネジメントの広がり－経営戦略論の視点から－

帝塚山大学 経営学部 専任講師
リスク研究センター客員研究員　曽根秀一（そねひでかず）

新聞紙上では「リスク」の文字を見ない日はありません。最近の経済誌や学術誌においても特集号が組まれる程です。元々リスクに対する考えや備えは古来よりありました。しかし、企業や経済の活動範囲の広がり、2 度の大戦やその後の経済危機等、国家や企業の存続が危ぶまれるたびにリスクと関連した事象が着目され、研究が進められました。

こうしたリスクマネジメントに関する研究を大別すると 2 つに集約できます。第 1 に、経済学者マーシャルやナイトの初期（1920 年代）の研究に代表されるように、危険負担の管理（保険、保証、契約上の免責）を論じたその後の一連の研究を通じて、経営の合理化、費用管理の一環としての保険管理から議論されています。第 2 に、社会学者ベックによる『危険社会』の発刊を皮切りに、1990 年代以降、本格的に保険論以外にも広がりをみせ、経済学、安全工学、経営学、情報学、環境学、衛生管理等の視点でも盛んに論じられ現在に至ります。現に、わが国の論文データーベースに登録されている「リスクマネジメント」をキーワードとした論文数を調査したところ、1967 年の初登場から 93 年迄は 1 ケタ、94 年に 2 ケタ、97 年には 3 ケタとなり、2001 年以降は常時 500 以上となり、ここ 15 年で使用頻度が急上昇していることがわかります。

経営学では、「リスクに挑戦しなくなるのが最大のリスク」と言われる程、企業経営とリスクは非常に重要な関係性を保ちます。これまでリスクの一般的な認識は、リスクは怖いものというマイナス要素が前面に出ていました。しかし、近年、企業はどのようにリスクと向き合うのかを経営学の視点からも論じられ、特に戦略的意思決定やリスクテイキングの重要性は近年着目されています。例えば、加護野忠男甲南大学特別客員教授は、株主からの圧力や従業員の不安などからも一時的に損を出すことは経営者にとって一種の賭け、リスクテイキングになると指摘しています。また、小高久仁子関西学院大学准教授は、戦略的意思決定に対するトップや組織成員のコミットメントに着目し、リスクの明確化、リスクテイキング力が直観的判断へのコミットメントを支えると論じています（他方でコミットメントは、実行力の源泉と同時に行き過ぎると適切でない戦略に固執する等の逆機能を生み出すとも指摘）。もう 1 つ着目すべきは、マギル大学経営大学院のミンツバーグ教授も指摘するように、失敗した場合でも損失を最小限に食止め、損失要因を除去し、利益を最大化させていくリスクと利潤の最適化についてです。これまで研究を行ってきた長寿企業を対象とした研究もまた広義なリスクマネジメントの範囲で考えることができます。現在、こうしたリスクマネジメント、経営学の視点から組織の存続と衰退について考察し研究を進めています。紙幅の関係上、詳細についてはまた本誌等でご紹介できればと考えております。

リスク研究センター通信

◆平成 27 年度　入学式のご案内

平成 27 年度入学式を次のとおり挙行いたしますので、お知らせします。

日時：　平成 27 年 4 月 6 日（月）　13 時 00 分から（受付開始　午前 11 時 50 分から）

会場：　びわ湖ホール（大津市打出浜 15-1）

※詳しくは
http://www.shiga-u.ac.jp/2015/04/06/31526/をご確認ください。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】
1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】
1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】
1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】
1. 配信メールが回線上の問題（メールの遅延，消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】
1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12 ）

＊当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、
菊池健太郎、金秉基、久保英也、
柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局
(Office Hours:月ー金 10:00-17:00)
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1
TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189
e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp